

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	CAD1（CAD1）		
ナンバリングコード	L20302	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 標準レベル 建築設計製図
単位数	1	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	コース選択必修:建築設計コース、建築工学コース、住居・インテリアコース 選択:環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L030201	クラス名	-
担当教員名	近藤 正一		
履修上の注意、 履修条件	PCルームのパソコンを使い、課題作成を行い、データを提出し、作成内容と出席の確認を行います。 課題について、講義中、随時、指導を行います。授業中に完成できない場合は、宿題となります。 やむを得ず欠席した場合であっても、次回の講義までに宿題を提出してください。		
教科書	指定なし		
参考文献及び指定図書	授業の中で、随時、紹介します。		
関連科目	CAD2、CAD3、基礎製図、CAD製図、設計製図1、設計製図2、設計製図3、設計製図4		

○基本情報		
授業の目的	第1に、BIMを用いたプレゼンテーションテクニックを身につけます。 第2に、建築の構成要素について理解し、製図法を修得します。 第3に、設計製図にCADの学びを活かせるようにします。	
授業の概要	BIMを用いて図学の理解を促す演習に取り組みます。 BIMを用いて建築の構成要素について学ぶ演習に取り組みます。 BIMを用いて設計ができるよう、アプリケーションを修得します。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	BIMを用いたプレゼンテーションテクニックを身につけます。		30点	30点
【知識・理解】	建築の構成要素について理解し、製図法を修得します。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	設計製図にCADの学びを活かせるようにします。		20点	
【思考・判断・創造】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
出席と演習課題の提出にて評価します。課題の完成度、正確さ、速度、各自の想像力を評価します。 欠席をすると、次の作業を行うことが出来なくなる事もあるため、出席を重視します。 やむを得ず欠席する事となった場合には、次回までに補講を申し出ること。 課題のフィードバック方法は適宜指導する。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	CAD1（CAD1）	授業コード	L030201
	担当教員	近藤 正一		
学修内容				
1. BIMを用いた図学の練習1 三面図について解説し、演習を実施します。完成できない場合は、次回までの宿題とします。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
2. BIMを用いた図学の練習2 投象図について解説し、演習を実施します。完成できない場合は、次回までの宿題とします。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
3. BIMを用いた図学の練習3 前回はさらに発展した課題について、演習を実施します。完成できない場合は、次回までの宿題とします。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
4. BIMを用いた図学の練習4 投象図の影について解説し、演習を実施します。完成できない場合は、次回までの宿題とします。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
5. BIMを用いた図学の練習5 前回はさらに発展した課題について、演習を実施します。完成できない場合は、次回までの宿題とします。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
6. BIMを用いた図学の練習6 透視図について解説し、演習を実施します。完成できない場合は、次回までの宿題とします。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
7. BIMを用いた図学の練習7 透視図の影について解説し、演習を実施します。完成できない場合は、次回までの宿題とします。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
8. BIMを用いた製図の練習1 二級建築士の参考図面を参考として、木造の平面図を描きます。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間

○授業計画		科 目 名	CAD1（CAD1）	授業コード	L030201
		担当教員	近藤 正一		
学修内容					
9. BIMを用いた製図の練習2					
二級建築士の参考図面を参考として、木造の平面図を描きます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
10. BIMを用いた製図の練習3					
二級建築士の参考図面を参考として、木造造のその他の図面を描きます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
11. BIMを用いた製図の練習4					
二級建築士の参考図面を参考として、木造造のその他の図面を描きます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
12. BIMを用いた製図の練習5					
二級建築士の参考図面を参考として、RC造の図面を描きます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
13. BIMを用いた製図の練習6					
二級建築士の参考図面を参考として、RC造の図面を描きます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
14. BIMを用いた製図の練習7					
二級建築士の参考図面を参考として、鉄骨造の図面を描きます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
15. BIMを用いたプレゼンテーションの練習					
二級建築士の参考図面を参考として、鉄骨造の図面を描きます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
16. 補講					
これまでの提出物の内容を基に、採点を行い、発表しますが、もう少し完成度を上げたいという意欲のある学生には、一定の期限の間にチャンスを与えます。これにより、若干の評価はします。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間